



京都中部総合医療センター

Kyoto Chubu Medical Center



令和6年度自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞しました。この表彰は、他の病院の模範となる経営努力、地域医療に果たしている役割など全13項目の功績が評価されたものです。中でも、南丹医療圏における救急医療の役割、地域医療支援病院としての成果、新型コロナウイルス感染症への取り組みなどが高く評価されました。

CONTENTS

- 院長挨拶……………①
- 自治体立優良病院総務大臣表彰
受賞によせて……………③
- 診療科紹介 皮膚科……………⑤

- 赴任医師のご紹介……………⑤
- 栄養科コラム 季節の食材の栄養情報
スイカは夏を乗り切る万能薬……………⑤
- 看護の日イベントを実施しました……………⑥
- はたらきはじめて……………⑥
- 看護学校の紹介……………⑦

- 京都中部総合医療センター
看護専門学校……………⑧
- 各種教室・セミナー等のご案内……………⑨
- 京都中部総合医療センターの
救急体制……………⑩
- 紹介状をお持ちください……………⑩

地域医療支援病院 紹介受診重点医療機関 臨床研修病院
救急告示病院 日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療病院 第二種感染症指定医療機関
地域周産期母子医療センター ヘき地医療拠点病院
京都府地域リハビリテーション支援センター
京都府災害拠点病院（地域災害医療センター）
DMAT 指定医療機関 認知症疾患医療センター
エイズ拠点病院 京都府難病医療協力病院

京都中部総合医療センター

〒629-0197 京都府南丹市八木町八木上野25番地
TEL 0771-42-2510代 FAX 0771-42-2096

<https://www.kyoto-chubumedc.or.jp>





京都中部総合医療センター広報誌

2024.7

Vol.62

夏号

病院の理念

地域の拠点病院として、患者さん中心の良質な医療を行い、地域に愛され信頼される病院を目指す。

病院の基本方針

1. 常に患者さんの立場にたち、権利を尊重して適切な医療を行います。
2. 地域医療支援病院として、地域の医療・介護・福祉等と連携しながら、専門診療を推進して地域完結型医療の中心的役割を担います。
3. 第二種感染症指定医療機関として、二類感染症もしくは新型コロナウイルス等感染症に対応した医療を提供します。
4. 救急医療、周産期・小児医療、災害医療を充実させ、いつでも安心して受けられる医療を提供します。
5. 地域がん診療病院として、集学的医療を推進し、高度ながん医療を行います。
6. 働き方改革を推進するとともに、チーム医療を強化し、医療の質・安全性を高めるため、すべての職員の資質向上に努めます。
7. 公営企業としての役割を全うするため、経営効率を高め、健全経営を遂行します。

患者さんの権利と責務

私たちは患者さんの権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた医療を行います。

1. 説明を受ける権利
2. 治療を選択する権利
3. 情報を知る権利
4. 個人匿報の保護を受ける権利
5. 他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
6. 自分の健康情報を正確に提供する責務
7. 説明を理解するまで問う責務
8. 病院での規則に従う責務



院長挨拶

自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞して

院長 たつみ てつや 辰巳 哲也



今年も病院の周りでは田植えが終わりました。通勤時に早苗田に映る緑の山並みや黄昏時の夕焼けなどの田園風景を見て毎日心がなごみました。今年は6月1日から美山溪流での鮎釣りが解禁となり、職員とともに初夏の味覚とも言える鮎を食べに出かけました。枕川楼という美山でも有名な鮎料理旅館を訪ねると、上品な女将さんが出迎えてくれて、お昼時間に「美山川の天然鮎御膳」を頼みました。美山では琵琶湖で養殖した約3トンの稚鮎が4～5月末まで由良川の上流に放流されて、美しい溪流で育った獲れたての鮎を食べることができます。案内された2階の個室の窓の外には由良川の支流である知見谷川の清流が見えました。「カナ・カナ・カナ・・・」という蜩（ヒグラシ）の鳴くような清んだ声が聞こえ、まさかこの時期に蟬がいるはずがないと思うと、それはカジカガエルの鳴く声だと教えられました。清流の歌姫とも呼ばれる美しい声を聴きながら鮎料理を頂きました。山間の溪流が育む初夏の風物詩料理に大変満足なひと時を過ごしました。

京都中部総合医療センターは令和6年6月13日に総務省から「自治体立優良病院総務大臣表彰」を授与されました。全国で唯一この名誉ある表彰を頂きましたことを心から光栄に存じます。院長を拝命してから「良質な病院経営なくして良質な医療はなく、良質な医療なくして良質な病院経営なし」の信念のもと、健全経営と良質な医療を両輪とした病院目標を掲げて参りました。この10年間、ともに歩んでくれたすべての職員皆さまに深く感謝を申し上げたいと思います。この表彰は、他の病院の模範となる経営努力の積み重ねや、救急医療など地域医療に果たす役割全13項目の功績を高く評価していただいたものと考えます。令和5年度の「自治体立優良病院会長表彰」の受賞から引き続いて受賞することができた病院が、全国で当院のみで





あったことは正直驚きではありますが、With/After コロナ時代の昨今の病院経営の難しさを反映したものであると考えます。令和6年からの実質マイナス改定ともいえる厳しい診療報酬の中、物価高、人材確保、医師の働き方改革に対応していくことの難しさを誰しもが危惧されているかと存じます。とはいえ、私の目指す大きな目標をまた一つ達成できたことに少し安堵するとともに、今後も職員一同全力で総務大臣表彰の榮譽に恥じない経営努力と良質な医療の提供を行っていきたいと存じます。

京都中部総合医療センターは、諸物価高騰に対応した新病棟開院に向けての準備計画を新たに進めております。中長期的な経営戦略と返済シミュレーションを再構築し、地域完結型医療の中心的役割強化に努めます。新棟では救命救急機能・集中治療機能を強化するとともに、ロボット支援下手術などの高度専門医療をさらなる高みへ進化させ、新興感染症を含めた災害など非常時にも対応できる機能を備えたいと考えております。先が見通せない建築物価の高騰、働き手が減少する将来に向けて医師・看護師などの人材確保など課題が山積していますが、皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう今後ともどうか宜しくお願い申し上げます。

今後も京都中部総合医療センターは、この美しい山里が残る医療圏にお住いの皆さまの生命健康をお守りする拠点病院としての使命を全力で果たして行きたいと存じます。今後とも皆さまのご協力とご支援を賜りますようどうか宜しくお願いいたします。7月に入り京の街中では先祭りの鉾立が終わり、祇園囃子が遠くに聞こえてきます。皆様の夏が今年も楽しい思い出となりますようにお祈りしております。



表彰式にて中井総務省大臣官房審議官と

自治体立優良病院総務大臣表彰受賞によせて



にしむら りょうへい
国民健康保険南丹病院組合管理者 西村 良平

京都南丹医療圏は圏域の人口規模も小さく、また近年減少も続いています。さらに、医師・看護師を中心とした医療人材も京都府南部地域に大きく偏在し、スタッフの確保に非常に苦しんでいます。そのため圏域の医療機関は極めて厳しい運営環境に置かれています。加えてこの数年間、新型コロナウイルス感染症の拡大は医療現場スタッフや病院運営に多大な負担を強いる状況を生みました。

このような逆境下で、地域の中核拠点病院である京都中部総合医療センターが、この度令和6年度全国唯一の自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞できたことは、大きな喜びであります。

今回の受賞は病院運営の過去5年間の運営評価に基づいています。したがって地域の医療ニーズに的確に応えながら、より高度な医療サービスを安定・継続的にすすめてきた院長以下病院の皆さんの結束した努力の積み重ねの結果であり、その労をねぎらいます。さらに今回の受賞は、病院議会、医療・保健・福祉など地域の関係機関はもとより、多くの住民の皆様の日頃のご理解とご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、当院では、地域住民の安全・安心を守る救急医療や高度専門医療、小児周産期医療、感染症・災害医療などをより積極的に提供するため、新棟整備計画の具体化に取り組んでいます。昨今の想定外の建築資材高騰により、再度計画の見直しを行っておりますが、今回の受賞を励みに皆様により信頼され頼られる新病院へと変革を進めてまいる覚悟であります。



ふしき しんじ
総長 伏木 信次

本年6月に当院は、経営の健全性が確保され、かつ地域医療の確保に重要な役割を果たしている自治体立の病院として、令和6年度自治体立優良病院総務大臣表彰を受けました。まことに慶賀に堪えません。職員の皆様の平素のご努力に敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。

顧みますと当院はCOVID-19パンデミックが猛威をふるう中、南丹医療圏の第2種感染症指定医療機関として最前線でCOVID-19診療を担ってきました。辰巳院長の力強くかつ的確なリーダーシップのもと、3年半余にわたり職員が職種を超えて協働し、パンデミックへの対応に力を尽くされました。感謝申し上げます。このように当院は、提供する医療の質の高さにおいても、病院経営においても素晴らしい実績を残してきましたので、令和5年度の自治体立優良病院会長表彰受賞に続き、本年度は総務大臣表彰受賞の栄誉に浴することになりました。重ねてお祝い申し上げます。

ところで新約聖書ルカ伝に「だれも新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりはいしない。・・・(中略)・・・新しいぶどう酒は新しい革袋に入れねばならない。」というイエスの言葉が出てきます。当院が南丹医療圏の住民の皆様から一層信頼される病院となるためには、スタッフや先端的機材を充実させるとともに、皆の叡智を結集して新たな革袋を用意することが期待されています。

結びにあたり、当院の次のステップへ向けてのエールとして、神戸と四国を橋（のちの明石海峡大橋）で結ぶという壮大な夢を抱かれた、第12代神戸市長 原口忠次郎氏の言葉「人生すべからく 夢なくしてはかないません」（舞子公園の碑文より）を送ります。



事務局長 なかがわ ゆたか
中川 豊

私が事務局長を拝命し僅か7ヶ月あまり。

今日まで渾身の努力により今回の榮譽を手にした職員の皆さまを他所に、東京での表彰式に出席。新幹線でワクワク、ソワソワのお祭り気分も何のその。受賞会場で総務省大臣官房審議官や全自病協会長、国会議員、マスコミ、その他各関係機関の偉大なる先生方を拝見するや否やこの総務大臣表彰の重みに背筋がピーンと伸び身が引き締まりました。当院の職業倫理には、「医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くす…」と記されています。正に実践です。

本当に大切なのは、私達はこの受賞を糧に名誉に恥じない病院運営を今後も続けていくこと、それには誰もが手にするこのできない榮譽を掴んだ病院職員の一員であることに誇りを持つこと、だと思います。

やはり皆さんの英知と手技、組織力は、この地域にそして当院になくてはならない宝物で、私達の仕事は誰もが簡単に出来ることではありません。心からの敬意を表します。

さて、今年は南丹病院が開業した昭和11年から数えて88年目。

皆さんもご承知のとおり「8」、「八」は、日本では末広がりと言われで縁起が良いとされています。「8」は「∞」無限大にも広がります。

今の世の中、突然何が起るか分かりませんが、「88」のダブルパワーで新棟建設を含め病院の未来に夢を描き、何か面白いことを一緒に考えてみませんか。

またワクワク、ソワソワしてきました。これからも力を合わせて…



看護部長 ますたに てるよ
増谷 照代

この度、名誉ある総務大臣表彰を受賞できましたこと心より光栄に存じます。地域の皆様にはコロナ禍のなか、多大なご協力をいただきまして誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

看護部では未曾有の感染症発生に対して、院内感染対策委員会を中心に、多職種と連携しながら安全な医療・看護の提供ができるよう努力して参りました。また地域の中核病院としての役割を果たすために、慢性的な看護師不足のなか、看護師という使命感のもと職員同士が協力し、励まし合いながら看護を行って参りました。長いトンネルを通りすぎ本来の日常が戻ったことに安堵いたしておりますが、新興感染症や近年頻回に起こっている地震などの自然災害に対応できるよう、日々安全管理体制を整えていかねばならないと思っています。また少子超高齢化が進む中、地域包括ケアシステムの構築に向けて関係機関と連携を取りながら、患者さん・ご家族の方々のご意向に寄り添った関わりをめざしています。

今後も皆様の命・健康・暮らしを守り、ぬくもりや安心感のある看護の提供ができるよう、働く職員がいきいきと働き続けられるよう職場環境を整えて参りたいと考えています。今後とも地域の皆様のご理解ご協力よろしくお願い申し上げます。

皮膚科

Dermatology

皮膚科部長 岐部 幸子

当院は南丹医療圏における皮膚科診療の拠点病院であることを念頭に、迅速かつ適切な保険診療を提供するべく努めています。

皮膚を診察し全身を診るのが皮膚科。その範囲は内科から外科的な領域まで多岐にわたります。

アトピー性皮膚炎などの炎症性皮膚疾患や皮膚感染症の治療、さらに皮膚腫瘍全般の検査、診断、手術を一貫して行っています。

近年では、動脈硬化症、水疱性類天疱瘡、褥瘡など高齢者特有の皮膚疾患の占める割合が高く、超高齢化社会の到来を実感しています。いずれも糖尿病などの内科基礎疾患を高率に合併しており、他科と連携し治療にあたる必要があります。

今後とも他科、コメディカルスタッフと連携して皮膚科領域疾患の早期発見、早期治療につなげられるよう対応を構築し地域医療に貢献してまいります。



赴任医師のご紹介



泌尿器科医員 小島 光統

京都岡本記念病院にて2年間研修医として勤務し、昨年は泌尿器科専攻医として京都府立医科大学附属病院で1年間勤務しておりました。地域のために泌尿器科領域の診療を行なっていくのはもちろんのこと、地域の皆様に寄り添い安心していただける様、日々精進して参りたいと考えています。よろしくお願いいたします。（5月着任）



総合診療科医員 加地 泰征

京都で育ち徳島大学に入学、卒業後は医仁会武田総合病院で研修医をしておりました。2年間の研修を経て、同院総合診療科専門医プログラムに入り、現在は専攻医として研鑽を積んでおります。本年7月から半年間、京都中部総合医療センターでお世話になります。新たなスキルや知識の習得にも励みながら、今まで学んできたことを活かしつつ、地域の医療に貢献していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。（7月着任）

栄養科コラム
季節の食材の栄養情報

スイカは夏を乗り切る万能薬！

管理栄養士 森山 瞬

日本の夏の風物詩であり、“夏の果実の王様”と言われ親しまれているスイカ。その歴史はとても古く、アフリカの砂漠地帯で2500万年以上も前に誕生したと言われています。日本へ伝わった経緯には様々な諸説があるため、はっきりした事は分かりませんが、栽培が始まったのは江戸時代後期になってからです。その後、外国から様々な品種が日本に輸入され、それらを品種改良し現在の日本のスイカになりました。赤い果肉と爽やかな甘さが特徴のスイカですが、実は「健康・美容効果」が期待できる果物として注目されています。

栄養素としては果肉の大部分（約90%）が水分（果汁）で占められており、100gあたり約40kcalと非常に低カロリーな果物！ダイエット中の方でも気にすることなく食べられて、水分補給もできるので熱中症予防にもオススメです。

その他にも糖質・ビタミン・ミネラルなどの栄養成分がバランス良く含まれており、「カリウム」の作用によるむくみや血圧の改善、「β-カロテン」「ビタミンC」「リコピン」の強い抗酸化作用による美白・美肌効果、生活習慣病予防など様々な効果が期待できます。また、スーパーアミノ酸とも言われる「シトルリン」という栄養素が含まれていることも特徴の一つであり、血流改善や動脈硬化の予防効果があるとされています。

栄養豊富なスイカを食べて暑い夏を乗り切りましょう！



看護の日イベントを実施しました

まつおか みよこ
副看護部長 松岡 美代子

5月12日は「看護の日」でした。この日は有名な看護師ナイチンゲールの誕生日であり、1990年に厚生省（現在は厚生労働省）によって制定されました。ナイチンゲールの誕生日を記念日とすることで、看護師の尊い仕事と献身的な努力を称え、看護業界への理解と尊敬を深めることが目的です。この1週間を看護週間として全国で様々なイベントが開催されました。当院でも4月下旬から外来スペースに看護の日についてのポスターを貼り、5月17日には「看護の日」と書かれた絆創膏を配る活動をしました。

看護の看は手と目を表し、看護の護は言葉と心を表しています。私たち看護師は、いつも患者さんの心に寄り添い、声に耳と心を傾け、手をさしのべる、そんな看護を心がけています。しかし、最近は看護師不足が全国的な問題になっており、これは当院でも深刻な問題で、ゆっくりと患者さんと向き合えていないのが現状です。これが解消されるよう願うと同時に、当院の看護部の理念でもある「心温まる看護」をいつまでも提供していけるよう、これからも研鑽を積んでいきたいと思っています。



はたらきはじめて

やじまかのん
第一病棟5階 看護師 矢嶋 花音

入職して早くも4ヶ月が経とうとしています。

初めてのことばかりで、最初は自分が本当に看護師としてやっていけるのか不安と緊張の毎日でした。

今でも新しいことの連続で緊張が続きますが、プリセプターを中心に先輩方から優しい声を掛けていただけることで楽しく働いています。また、プリセプターとプリセプティーが意見交換を行うターティー会が月に1回開催され、そこで振り返りを行い、翌月の目標や課題について話し合います。このような独自の取り組みで、一人ひとりに合ったアドバイスを頂けることで不安が解消され、暖かい環境で働くことができます。

日々先輩方から臨床での看護技術や知識だけでなく、看護に対する姿勢や患者さんとの関わりの中で、看護師として大切なことなど多くのことを学ばせていただき刺激を受けています。

自分の知識・技術全てにおいて未熟さを痛感する毎日ですが、私も先輩方のように一日でも早く一人前の看護師となり、この南丹医療圏の医療を担い、患者さんに笑顔が届けられるよう日々努力していきたいと思っています。



私の学校自慢

京都中部総合医療センター看護専門学校副学校長 あさだ みか 浅田 美佳

京都中部総合医療センター看護専門学校は創設以来約 2,000 名の卒業生を送り出し、今年で 84 年目となる歴史ある看護学校です。2021 年に校名を公立南丹看護専門学校から京都中部総合医療センター看護専門学校へと変更し、地域の皆様から必要とされる新しい学校づくりに取り組んでいます。

本校の自慢の 1 つ目は、地域の皆様に学生の教育に携わっていただいていることです。2022 年から八木町南地区大堰塾様のご協力を得て足浴、手浴、血圧測定などを行う地域交流会を年 5 回行っており、今では 50 名近い方に来校していただいています。「気持ちいいね」「ありがとう、ありがとう」と地域の方からの暖かいお言葉を頂いています。また八木町神吉の農業体験では農作業を教えていただきながら地域の暮らしを知り、看護にできることは何かを考える有意義な学びをさせていただいております。また、南丹保健所での保健師活動、小・中学生の職業体験、南丹市社会福祉協議会主催の輪投げ交流会、みんなで一步プロジェクトの参加など、様々な地域交流をさせていただいています。その他、地域の店舗からのお弁当販売もさせていただいています。「お弁当 いつも美味しい ありがとう」と、学生達は川柳で感謝の気持ちを詠んでいます。

これらの取り組みが令和 4 年度看護職員確保対策特別事業（一般社団法人日本看護学校協議会 / 厚生労働省）看護基礎教育における、地域住民と連携した教育事例収集事業の好事例として選定されました（京都府では 2 校、全国 452 校中 18 校）。様々な体験をさせていただいている地域の方へ感謝の気持ちでいっぱいになりました。

自慢の 2 つ目は、京都中部総合医療センターのスタッフの皆様から熱心なご講義、指導をいただいていることです。本校の講義では辰巳病院長を始め多くの医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士、歯科衛生士、理学療法士等から専門的な知識だけでなく多職種連携の必要性も学ぶことができます。

自慢の 3 つ目は「実習先 目の前にあって 安心だ」（本校の学生川柳）です。臨地実習のほぼ全てが京都中部総合医療センターで行えることです。卒業生がいる病棟、講義に来ていただいたスタッフがいることは、学生にとって何よりも安心して実習ができる環境となっています。

この他にも自慢したいことはたくさんありますが、何よりも多くの方に支えられ愛情を頂きながら看護を学ぶことができます。

本校は、1940 年に地域の方からの要望で設立されていることを忘れず、これからも地域の皆様に少しでも貢献できるよう精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



神吉での農業体験



地域のパン販売



災害ボランティア活動の授業



輪投げ交流会

災害看護プラントツアーでの学び

1 年生 やまうち あず 山内 杏珠

入学して間もない4月に病院のプラントツアーに参加しました。医療現場において必要不可欠である水と電気は災害時に対応できるよう設備が整えられていました。ヘリポートに繋がるエレベーターは緊急時以外には上がれないようになっており安全管理対策が施されていました。

普段は立ち入ることのできない場所を実際に見ることで各設備の重要性を実感し、災害拠点病院である京都中部総合医療センターの役割を知ることができました。また、日常だけでなく災害時にも活躍できる看護師という職業に改めて魅力を感じました。



地域交流会での学び

2 年生 きむら りお 木村 祈央

5月に地域交流会を行い、足浴や手浴、血圧測定、遊びコーナーなどを設けて、地域の方とコミュニケーションを取ることで交流を深めることができました。

私は血圧測定を担当し、高血圧の危険性や予防などを伝えることで高血圧の怖さを知ってもらうことができ「これからの生活に活かしていくね」と言っていました。

日常生活に少しでも活かしてもらい健康を保つことができるよう、予防方法を伝えることの大切さを学びました。この地域交流会での学びをこれからの実習に活かしていきたいと思います。



実習に向けて

3 年生 ほんごう はな 本郷 華

3年生の臨床実習では、様々な患者さんに応じたケアを安全安楽に実践できるよう看護技術を向上させたいと思います。

また、他職種との連携を学ぶことやチームワークがどのように取られ、調整されているのかを実感し学びを深めたいです。

8ヶ月間の実習になりますが、看護させていただいているという気持ちと一つひとつの出会いを大切に、向上心を持ちながら、全ての方とのコミュニケーションを大切にしたいです。自己の成長ができるように頑張りたいと思います。



各種教室・セミナー等のご案内

糖尿病教室

当院では糖尿病患者さんに糖尿病の基礎知識や食事、運動療法について学んでいただき、日々の療養生活に役立てていただけるように定期的に糖尿病教室を開催しています。

今年度は以下のとおり開催を予定しております。

完全予約制で有料となりますので、参加ご希望の方は外来担当医もしくは当院までお問い合わせください。



日時	内容	時間・会場
9月17日(火)	・腎臓内科医師からのお話 ・管理栄養士から栄養のお話	14:30～16:00 小会議室
10月15日(火)	・内分泌・糖尿病・代謝内科医師からのお話 ・管理栄養士から栄養のお話	14:30～16:00 小会議室
11月14日(木)	・「世界糖尿病デー」イベント (教室はお休みとなります)	(準備中)
12月17日(火)	・皮膚排泄ケア認定看護師からのお話 ・管理栄養士から栄養のお話	14:30～16:00 大会議室
1月21日(火)	・循環器内科医師からのお話 ・管理栄養士から栄養のお話	14:30～16:00 大会議室
2月18日(火)	・眼科医師からのお話 ・管理栄養士から栄養のお話	14:30～16:00 大会議室
3月18日(火)	・歯科口腔外科医師からのお話 ・管理栄養士から栄養のお話	14:30～16:00 大会議室

※ 内容等変更になる場合があります。

ハートセミナー

心不全について理解を深めていただき、日常生活の注意点などを学んでいただけるように集団指導として「ハートセミナー」を開催しています。定期的に開催しており、院内掲示にて日程や内容をお知らせしています。ご興味のある方は当院栄養科または心臓リハビリテーション室までお問い合わせください。



京都中部総合医療センターの救急体制

当院では、24 時間 365 日救急の患者さんを受け入れられるよう体制を整備しております。京都府からは「救急告示病院」に指定され、二次救急医療機関として救急隊からの要請にも日々対応しております。

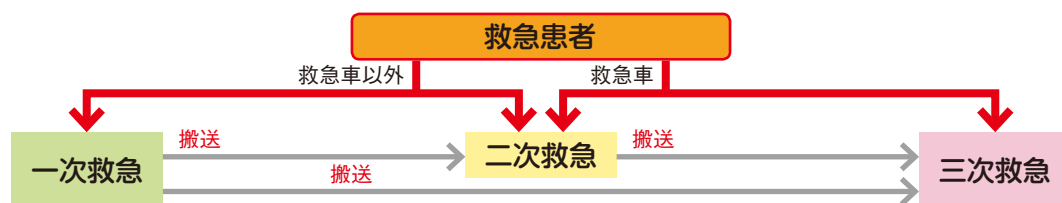
南丹医療圏には三次救急に指定されている病院がありませんが、当院では集中治療室を整備しており、第二病棟屋上のヘリポートではドクターヘリの受け入れも行っております。冠動脈カテーテル治療や、急性腹症に対する緊急消化管内視鏡処置・緊急手術などには 24 時間対応できる高次救急機能を有し、二・五次救急とも言うべき役割を担っています。

救急外来のお問い合わせ先
0771-42-2510(代)
24 時間 365 日対応



救急患者の大まかな分類

- 一次救急：比較的軽傷（帰宅可能）患者に対する救急医療
- 二次救急：中等症（一般病棟入院）患者に対する救急医療
- 三次救急：重症（集中治療室入院）患者に対する救急医療



紹介状をお持ちください

地域医療連携室主任 中俣 勇樹 (なかもた ゆうき)

当院は 2023 年 8 月 1 日より「紹介受診重点医療機関」に指定されました。

紹介受診重点医療機関とは国が新設した制度で、かかりつけ医（診療所・クリニックなど）からの紹介状を持って受診いただくことに重点をおいた医療機関です。

当院は従前より「地域医療支援病院」にも指定されており、地域のかかりつけ医と役割分担・連携して患者さんを診ています。

日々の健康管理はかかりつけ医が行い、手術や高度な医療機器・設備を必要とする診療などを当院が行いますので、受診の際はかかりつけ医からの「紹介状」をお持ちください。

Q. 紹介状とはどういうものですか？

患者さんの基本情報や紹介の目的、現在の主症状・病名、これまでの治療経過、投薬内容、既往歴などが記載されています。

Q. なぜ紹介状が必要なのですか？

紹介状は正式には「診療情報提供書」と呼ばれ、かかりつけ医と当院医師が連携して患者さんを診ることができるよう、これまでの治療情報を共有するために必要となります。

Q. 紹介状なしで受診するとどうなりますか？

これまでの治療経過が分からないので、既にかかりつけ医で行った検査を改めて行うことになったり、既にかかりつけ医にて効果が薄い事が分かっている治療を、当院で一から試す必要が生じたりします。

また、紹介状なく受診された場合は、国の定めにより一部負担金（3 割負担等）とは別に、選定療養費が初診時に掛かります。

当院では医科 7,500 円（税込）、歯科 5,300 円（税込）となります。

なお、地域医療連携室では紹介状をお持ちの方の診察予約を承っており、かかりつけ医を介しての予約の他、紹介状をお持ちの患者さんからの直接連絡による予約も可能となっています。

予約をしていただくことで、予約なしで受診されるよりも待ち時間の短縮が期待できますので、是非ご予約のうえご受診ください。

かかりつけ医を持ちましょう

かかりつけ医とは…

普段の健康状態を把握してくれる
もっとも身近な「主治医」のことです。
具合が悪くなったり、困ったときにはいちばんに
受診できる「かかりつけ医」を持ちましょう。



かかりつけ医についてのご相談は

総合受付①窓口

- 地域医療連携室／電話 0771-42-5061（直通）
- 受付時間／平日 8:30～17:15

看護職員募集

一緒に働く仲間、大募集
新しいこと、極めること、
仲間とともに。

看護師寮利用できます。（正職員）
月額 4,000 円（税込）



〒629-0197

京都府南丹市八木町八木上野 25 番地
京都中部総合医療センター総務課人事係
TEL 0771-42-2510(代)まで

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.kyoto-chubumedc.or.jp/nurse/>



編集後記

新型コロナウイルスが感染症法の分類で 2 類から 5 類感染症に移行して 1 年が経ちました。毎日の様に報道されていた新型コロナウイルスの話題がほとんど無くなりました。街中や電車の中でマスクを着用している人も少数派です。皆様、ご用心ください。法律が変わっても、ウイルスの性格が変わったわけではありません。先日、身をもって感染症状のつらさを体験しました。

広報委員会 H. M.

病院スタッフはマスクとゴーグルを着用して業務を行っておりますが、撮影のために一時的に外している場合があります。ご了承下さい。

